



第3章

策定にあたっての課題認識



第1節	市民意識への対応のための課題……………	26
第2節	時代の潮流への対応のための課題……………	27
第3節	地域特性から見た課題……………	28



策定にあたっての課題認識

第2章計画の背景の「市民の意識」、「時代の潮流」、「本市の地域特性」を踏まえ、今後のまちづくりの課題を整理します。

第1節 市民意識への対応のための課題

(1) 富里市の住みやすさと市民サービスに対する満足度と期待度

市民の満足度を高め定住を促進するために、市民ニーズに対応した各種サービスの充実を図る必要があります。

特に、市民の満足度が低く、かつ今後の期待度が高い分野を中心とした、市民サービスの充実に努める必要があります。

(2) 富里市の誇りと市の発展方向

本市への愛着を高め、独自のまちづくりを進めるために、市民が誇る農産物や豊かな自然を活かした個性ある都市づくりを進めていく必要があります。

本市の持続的な発展のために、市民サービスや都市基盤を充実させるとともに自然環境の保全に努め、バランスのとれた都市づくりを進めていく必要があります。

(3) 地域での生活と協働のまちづくり

市民と行政の協働のまちづくりを推進するために、協働の目標・理念やまちづくりに関する情報について、市民と行政が情報を共有するとともに、より多くの市民参加を推進する必要があります。また、今後の高齢社会の進行に対応し、安心して生活できる地域づくりのために、地域での生活を支える交通手段を確保・拡充する必要があります。

第2節

時代の潮流への対応のための課題

(1) 市民ニーズの多様化への対応

多様化・高度化する市民ニーズに対応した市民サービスの充実や生活利便性向上のための生活環境の充実を図るとともに、仕事と生活の調和の実現や誰もが働くことができ、働き続けられる就業環境づくりのために、多様な就業機会の確保や保育サービスの充実などによる就業支援の充実に努める必要があります。また、さまざまな防災・防犯など安全で安心してくらす環境づくりを進める必要があります。

(2) 人口構造の変化への対応

今後10年以降に本格化する人口減少や高齢社会に向けて、福祉サービスの充実、高齢者の生きがいづくり、都市のバリアフリー化など地域社会の仕組みづくりを整える必要があります。そのためには、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、また、子育て世代が安心して子どもをのみ育て、子どもたちが健やかに育つようさまざまな施策を展開し、幅広い分野で連携していくことが必要です。

(3) 社会経済情勢の変化への対応

不安定な社会経済の影響による市の活力低下を防ぐために、積極的な企業誘致や観光客誘致など、市の持続的発展に資する活力獲得の取り組みを進める必要があります。

また、市民の安心を支えるための各種社会保障の充実に努める必要があります。

(4) 地球環境問題への対応

富里市の個性である豊かな自然環境を守り育て、地球温暖化を防止するための取り組みを進める必要があります。

(5) 地方分権への対応

自己決定・自己責任による政策推進のために、行政評価¹⁾制度の導入や協働のまちづくりの仕組みを整え、実行していく必要があります。

1) 行政評価：行政の活動を何らかの統一的な視点と手法によって客観的に評価し、その結果を行政運営に反映させること。

第3節

地域特性からみた課題

(1) 成田国際空港隣接地としての課題

本市の持続的発展のため、成田国際空港の発着回数の増加、機能拡充の波及効果を活かしたまちづくりが必要です。

そのためには、今後見込まれる空港関連企業の立地、就業者の定住を促進するための、都市基盤の整備、都市施設の拡充・計画的な機能更新、魅力ある住居環境や市民サービスの充実を進める必要があります。

また、空港隣接地としての地理的条件と都市基盤を活かした産業振興を図っていく必要があります。

(2) 首都圏近郊の農業地域としての課題

農業地域としての競争力を高めるために、農業生産性の向上や販売体制の拡充、農産品のブランド化などの取り組みを進める必要があります。

持続可能な営農環境を整えるために、農業従事者の高齢化対策として新たな担い手の確保などの取り組みを進める必要があります。

(3) 豊富で多彩な知識や経験を活かすための課題

市民の持つ豊富で多彩な知恵や経験を活かし、魅力あるまちづくりを進めるために、福祉、教育、環境、農業など幅広い分野における協働の仕組みづくりを進める必要があります。